



OPCTV

オプション倶楽部TV

【売坊流】 政治経済イベント分析（25年9月）

ポスト石破は9月相場の 波乱要因となるか

この番組では皆様の**投資**や**トレード**に役立ち
そうな**イベント**、**グレイ・リノ**、**異常値**につ
いて分析していきます！



OP売坊

©2019-2025 OP売坊



2025年8月の日経平均を振り返る

日経225先物25年9月限4時間足 (2025/05/14~09/09)



日経平均（現物指数）ではなく日経225ラージ先物9月限を掲載しているのは、**価格帯別出来高分布**で大口プレイヤーの売買動向を分析できるからです。また、ミニ先物を使わないのは、資金量が大きなプレイヤーには小さすぎるからです

先物9月限は売り方が厳しい状況となっています。9月限はラージ先物も期日（SQ日）を迎えるメジャー限月ということで、上値を狙う仕掛けが入っている状態でしょう

SQ日に向けて最後まで上に持っていか、水曜日の段階で天井を付けるかに注目です



25年11月限SQ日までの注目イベント

<米国>

- 09月10日：生産者物価指数（8月分）
- 09月11日：消費者物価指数（8月分）
- 09月17日：FOMC政策金利
- 10月03日：雇用統計（9月分）
- 10月07日：貿易収支（8月分）
- 10月15日：消費者物価指数（9月分）
- 10月16日：生産者物価指数（9月分）
- 10月29日：FOMC政策金利
- 11月04日：貿易収支（9月分）
- 11月07日：雇用統計（10月分）

<欧州・英国>

- 09月11日、10月30日：欧州（ECB）政策金利
- 09月18日、11月06日：英国（BOE）政策金利

<日本>

- 09月12日：9月限SQ日（メジャーSQ）
- 09月19日：日銀政策金利
- 09月26日：消費者物価指数（東京9月分）
- 10月30日：日銀政策金利
- 10月31日：消費者物価指数（東京10月分）

日銀の利上げはもう少し先と考えていましたが、現状をみると五分五分でしょう。株価が堅調ですので利上げの確率は徐々に高まってきていると考えています



2025年9月						
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
2025年10月						
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2
2025年11月						
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16

日経225ミニOPのSQ日
日経225ミニ/マイクロ先物と月次/ミニOPのSQ日
メジャーSQ
日経225ラージ/ミニ/マイクロ先物と月次/ミニOPのSQ日
祝日取引実施日

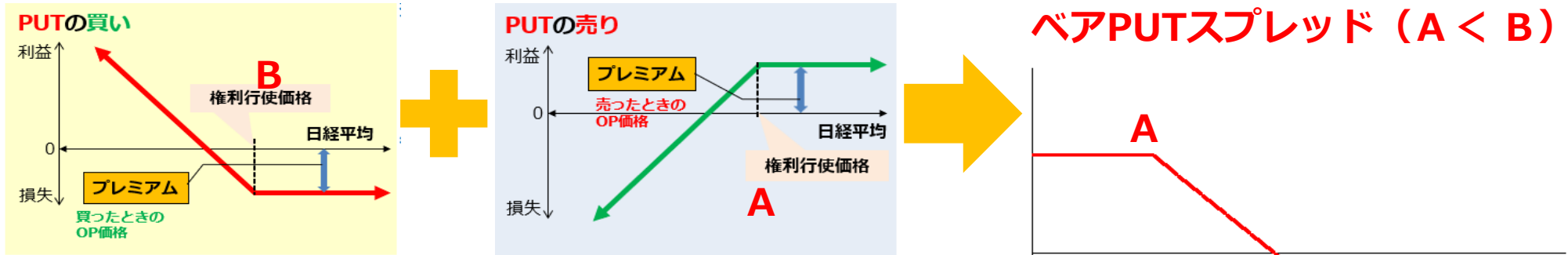
- 第二金曜日（原則）は日経225OP期近限月の未決済建玉が清算されるSQ日のため、225OPトレーダーにとって区切りの日です。
- OP売坊公式X「@OP49431790」で気になったニュースについて、つぶやいています。ぜひご覧ください。

[注] 予定は予告なく変更される場合があります。
出所) ブルームバーグ、ロイターなどから筆者作成



9月15日の祝日取引なしで翌日は特異日となるか

ベアPUTスプレッド = PUT買い + より低い権利行使価格のPUT売り



日経平均が下げるとみれば、日経225PUT (売る権利) を買う戦略が考えられます。しかし、買ったPUTの権利行使価格よりも低い行使価格のPUTを売ることで、利益は限定されますが、リスク限定で低コストで効率的な戦略を考案できます

戦略例

2025年3月13日（3月限SQ前日）に日経225OP 3月限の
36500PUTが50円、36750PUTが100円、37000PUTが200円だったとして
 以下のような戦略を仕掛けたとき、翌3月限満期日のSQ（特別清算値）が36483.79円だった場合

	戦略	コスト (千円)	証拠金	利益 (千円)	結果
PUT買い	36500PUT 1枚買い	50	なし	▲33.79	損失
ベアPUTスプレッド	36750PUT 1枚買い + 36500PUT 1枚売り	100 - 50 = 50	なし	200.00	4.00倍
PUT買い	37000PUT 1枚買い	200	なし	316.21	1.58倍

9月17日FOMCで市場は米政策金利の引き下げを確実視するが

米クリーブランド連銀の8・9月分CPI予測（前年比、2025/09/05現在）

<8月分予測>	CPI	コア CPI	<9月分予測>	CPI	コア CPI
9月05日	2.84	3.05	9月05日	2.92	2.89
8月29日	2.84	3.05			
8月22日	2.84	3.05			
8月15日	2.84	3.05			
8月08日	2.86	3.02			
8月01日	2.91	3.02			

出所) クリーブランド連銀

CME『FEDウォッチ』のFOMC政策金利予想（2025/09/05現在）

CME FEDWATCH TOOL - CONDITIONAL MEETING PROBABILITIES													
MEETING DATE	100-125	125-150	150-175	175-200	200-225	225-250	250-275	275-300	300-325	325-350	350-375	375-400	400-425
2025/09/17									0.0%	0.0%	0.0%	8.0%	92.0%
2025/10/29				0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.2%	72.6%	21.2%
2025/12/10	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.7%	67.9%	24.9%	1.5%
2026/01/28	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	38.8%	45.0%	12.5%	0.7%
2026/03/18	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	24.0%	42.4%	25.9%	5.6%	0.3%
2026/04/29	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	10.8%	31.4%	35.8%	17.7%	3.4%	0.2%
2026/06/17	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	7.3%	24.4%	34.3%	23.9%	8.3%	1.3%	0.1%
2026/07/29	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	7.9%	24.7%	34.0%	23.4%	8.1%	1.3%	0.1%
2026/09/16	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	4.9%	17.7%	30.1%	27.8%	14.4%	4.1%	0.6%	0.0%
2026/10/28	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	1.5%	8.0%	20.7%	29.5%	24.5%	11.9%	3.2%	0.4%	0.0%
2026/12/09	1.2%	6.4%	17.5%	27.3%	25.8%	15.1%	5.4%	1.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

出所) FEDウォッチ

米国のCPI（消費者物価指数）はFRB（米連邦準備理事会）の金融政策に大きな影響を与えています。その先行きをみるうえで米クリーブランド連銀のCPI予測は、かなりの信頼がかけます

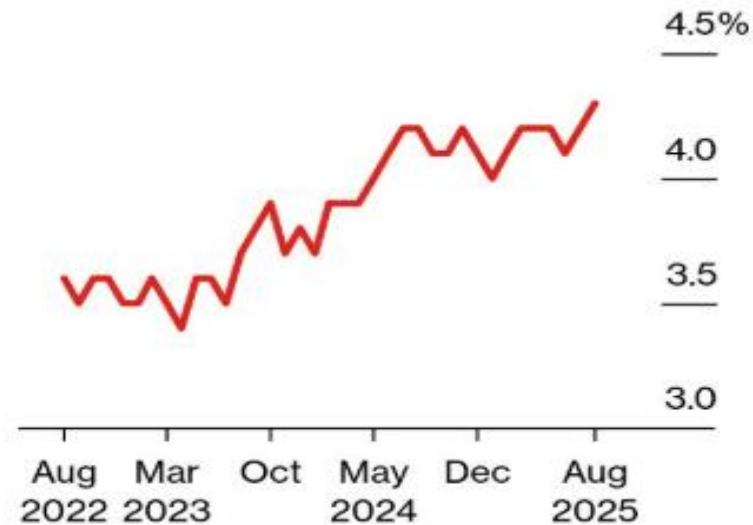
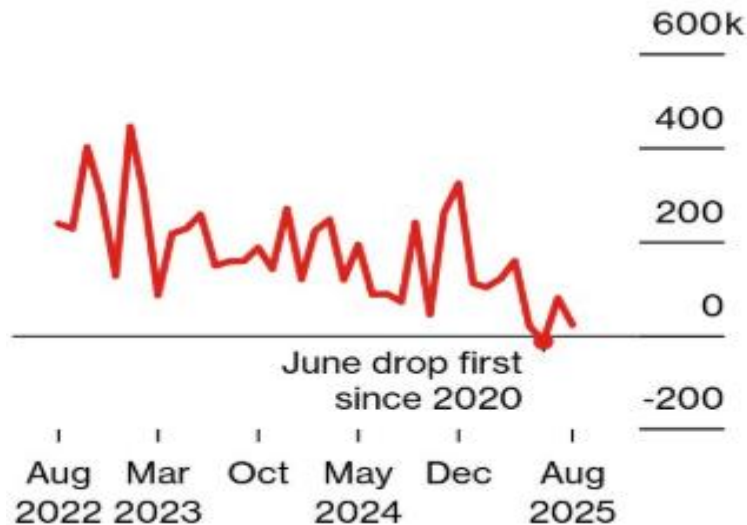
米国の大手先物取引所CMEが、上場するFFレート先物から逆算した『FEDウォッチ』によると市場参加者は9月17日FOMC（米連邦公開市場委員会）で政策金利（現在4.25～4.50%）の引き下げを確実視しています



10月3日の米雇用統計者数はイベントとなるか

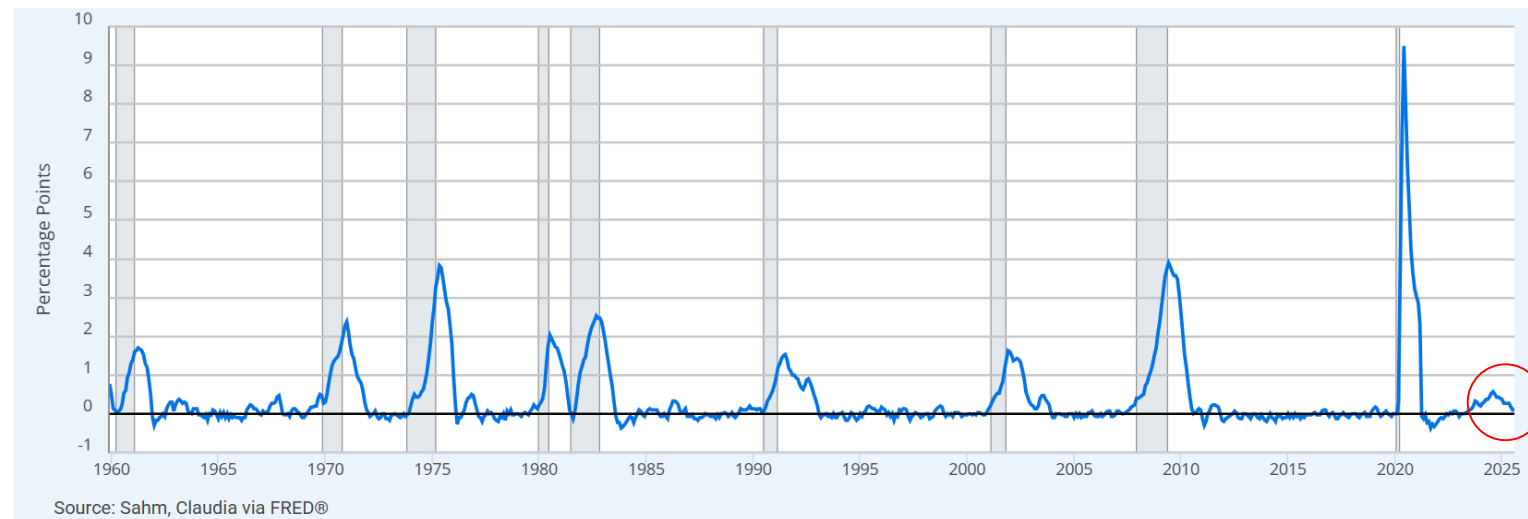
米国の非農業部門の就業者数（前月比）

失業率



出所) ブルームバーグ

サーム式景気後退指標の推移（1959/12～2025/08）



出所) セントルイス連銀

8月分の**米雇用統計**では非農業部門の就業者数前月比が市場予想の8万人を大きく下回る2.2万人増となり、しかも6月分改定値が1.4万人増から1.3万人減に下方修正されました。減少に転じたのは2020年以来です

ただし、**サーム式景気後退指標**（全米失業率＝U3の3カ月移動平均が過去12カ月における3カ月平均の最小値に比べて0.5パーセント以上の上昇となると景気後退の始まりを示すと考えられる）は8月分で0.13と落ち着いています



日本の次期首相が次期自民党総裁とは限らない

自民党総裁選挙

- 党員投票も含めたフルスペック方式
- 9月22日告示、10月4日投開票

首相指名選挙

- 野党の一本化が実現するか
- 新たな枠組みが組まれるか

石破首相が辞意を表明して日経平均がさらに上昇したのは政局の不透明感から円安が進行したからでしょう。一方、9月限SQに向けての仕掛けもあったと考えています

「新たな枠組みが組まれるか」とは自公連立に参加する政党が出てくるかということです。この場合、当面の政局安定化で日経平均の支援材料となり得ます



売坊先生のYouTube動画を何倍にも楽しめる

解説資料の入手リンクや補足Q&A記事などを配信しています！



- 日米**“実質”**利回り差とドル円の相関が高いのは、なぜですか？
 - 裁定取引の**“手口”**から、どのようなことがみえてくるのですか？
 - 日本銀行に**“暗黒の水曜日”**が起こり得るのは、なぜですか？
 - 米国が陥っている**“政策金利のジレンマ”**とは、何ですか？
 - 個別株を安く買いたいなら**“PUT売り”**が有効なのは、なぜですか？
- ……など

お気軽にご登録ください！



登録はオプション倶楽部のポータルサイト
<https://www.optionclub.net/>
でメールアドレスを入力するだけ!!



オプション倶楽部

検索

最後までご清聴、誠にありがとうございました。

OP売坊ブログ『実践オプション教室』

<https://www.jissennkop.blog.fc2.com>

OP売坊公式X『@OP49431790』

<https://x.com/OP49431790>

Copyright © 2019-2025 OP売坊 / Pan Rolling Inc.

All rights reserved. This report is for authorized recipients only and not for public distribution.

免責事項

- オプション倶楽部TV（以下「本動画」）で使用した図表・数値などは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。
- 本動画に掲載された情報・図表・資料は、あくまで金融知識の向上と情報提供を目的としたものです。証券など金融商品の売り買いを提案・勧誘するためのものとして、また証券など金融商品について助言・推奨するものとして、利用・解釈しないでください。
- 本動画は一般向けに編集されています。特定の投資目的・特定の投資環境・特定の投資家を一切考慮していません。事前に専門家の適切な助言を受けるべきですし、最終的な投資判断は、個々人が個々の状況を考慮して、自らの責任で下すようにしてください。
- 本動画に基づく行為の結果、発生した障害・損失などについて講師およびパンローリング社は一切の責任を負いません。
- 本動画に記載されたURLなどは予告なく変更される場合があります。
- 本動画に記載されている会社名・製品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。



水曜22時から YouTube で配信中!!

3つの視点で日本株・米国株・為替など市場を大きく揺るがしそうな材料を分析します

第1週目



政治経済
イベント分析

第2週目



グレイ・リノ
分析

第3週目



異常値分析

第4週目



ワンポイント
解説

※祝日や暦などで配信週が変更される場合があります。

ラジオNIKKEI月曜14時からの
『キラメキの発想』に出演した場合
その週の水曜配信は、お休みします



プレミア公開です。チャット欄へのコメントをお待ちしています。私も参加していることが多いです!